

北朝鮮、アメリカ、ロシアのミサイル発射実験を非難し、核兵器の廃絶を求める決議

国連では2017年7月、核兵器禁止条約が採択され、恒久平和の実現に向け世界が大きな一歩を踏み出した。

その一方で、北朝鮮、アメリカ、ロシアが、次々とミサイル発射実験を行い、核兵器の廃絶を願う各国政府と市民社会を失望させている。

中距離核戦力（INF）全廃条約から離脱したアメリカは、地上発射型の中距離巡航ミサイルの発射実験をことし8月18日に行ったことを明らかにした。また、ロシアもこれに対抗して原子力潜水艦による弾道ミサイル発射実験を行ったことを同月24日に明らかにした。そして、北朝鮮は、たびたびミサイル発射を繰り返している。これらの一連の行動は、各国が再び核軍拡競争に踏み出しかねないものとなる恐れがあり、まことに遺憾である。

被爆国である我々日本国民は、この事態を到底容認することはできない。平和都市宣言を行っている東大和市民を代表して、「核兵器のない世界」へ向けた取り組みを支持することを決議する。

（議決日）令和元年9月24日

（送付日）令和元年9月27日

（送付先）内閣総理大臣